日本との比較で
インドネシアを理解する

自己紹介

1975/4～1998/6　ヤマハ㈱入社　インドネシア工場立上支援部門配属

1998/6～1987/3　インドネシア工場生産課長　電子鍵盤楽器の組立生産

1987/3～1995/7　インドネシア工場長　電子楽器、ピアノ、ギターの輸出拠点化

1995/8～2005/3　帰国、インドネシアを普及品の生産拠点化するプロジェクト

2005/3～現在　ヤマハ退職、インドネシア進出サポートコンサルタントとして独立

インドネシア語翻訳・通訳

静岡大学客員教授、専修大学客員講師

独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)専門家

独立行政法人 中小企業基盤整備機構アドバイザー

一般社団法人海外事業支援センター(OBAC)アドバイザー

一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）講師

一般社団法人日本インドネシアビジネス協会(ABJI)理事

などを経歴し、これまでのインドネシア進出支援企業数は約100社

インドネシアとの関わりも48年になりました

セミナー要旨

- 大東亜戦争の前後から80年間にわたり、日本とインドネシアは深い繋がりを持ち続けて来ました。

- しかし世界情勢が大きく変わり出した今日、両国の関係も変わり始めているように思われます。

- そこでこのセミナーでは、日本とインドネシアを色々な視点で比較することで、インドネシアに対する理解をさらに深め、今後とのような関係を築くことが適切なのかを考えてみたいと思います。

- 比較データは以下のサイトを主に参照しました。

GLOBAL NOTE	https://www.globalnote.jp/
世界ランキング統計局	http://10rank.blog.fc2.com/
Our World in Data	https://ourworldindata.org/
TRADING ECONOMICS	https://tradingeconomics.com/

目次

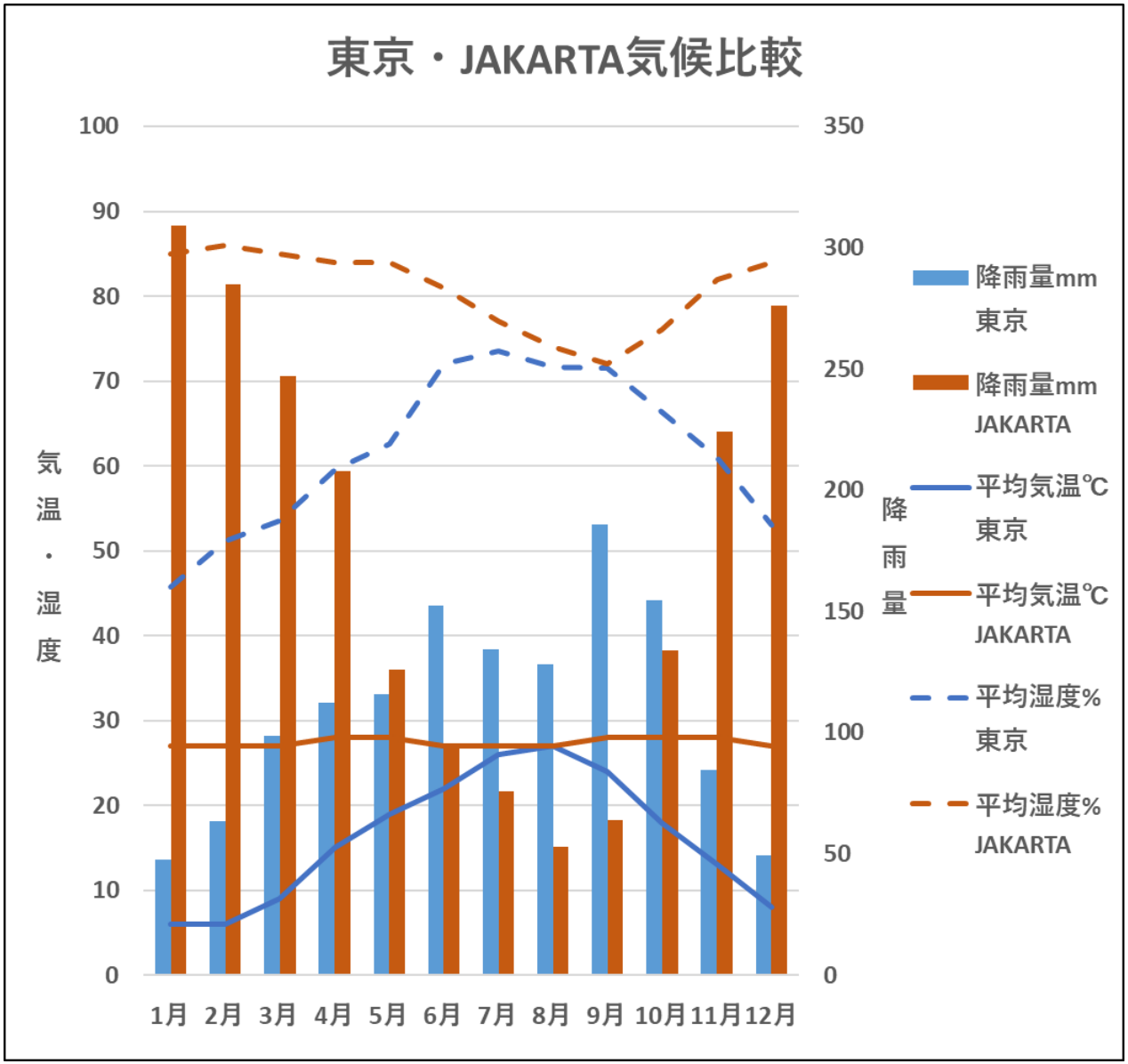
1. 国土
2. 気候
3. 国民
4. 生活
5. 歴史
6. 宗教
7. 言語
8. 衣服
9. 食事
10.住居
11.政治
12.軍事
13.教育
14.環境
15.資源
16.経済
17.産業
18.技術
19.芸術
20.娯楽

1. 国土

項目	単位	インドネシア	日本
陸地面積	千ha	187,752	36,450
耕地面積率	%	14.01	11.26
森林率	%	49.07	68.41
海抜5m以下面積率	%	7.71	3.25
海抜5m以下居住人口比率	%	8.82	12.44
島の数	島	13,466	6,853
排他的経済水域	千ha	61,590	44,793
活火山	個	130	110

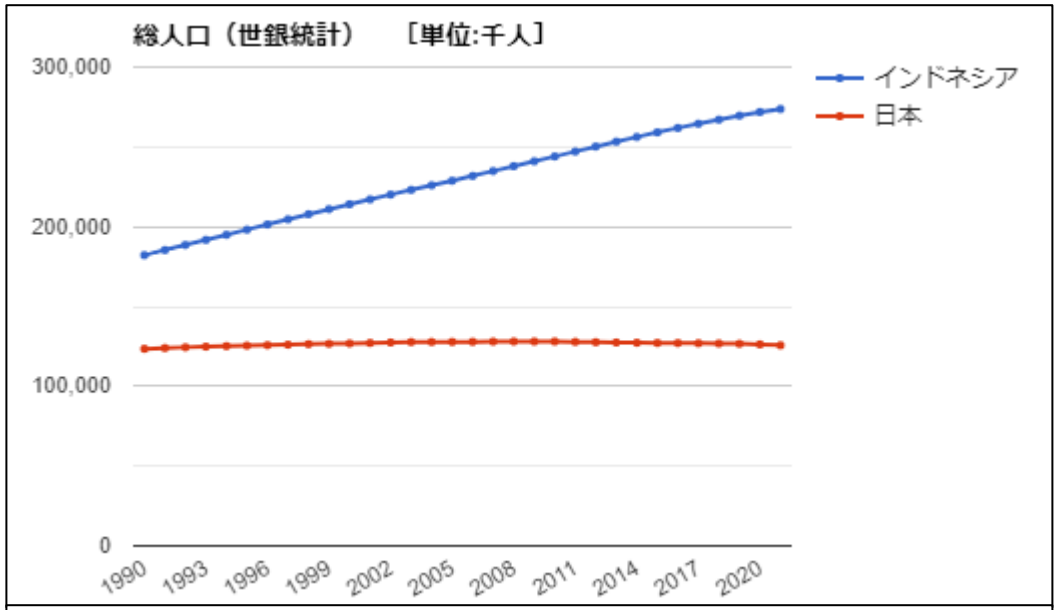
1. 島の数ではインドネシアが世界第5位、日本が第8位と、両国ともに広い領海を持ち、島嶼国家としての特徴を備えている。
2. インドネシアは海抜5m以下の平地が多く、耕地面積は日本の6.5倍ある。
3. インドネシアと日本は共に環太平洋火山帯の上に位置している。

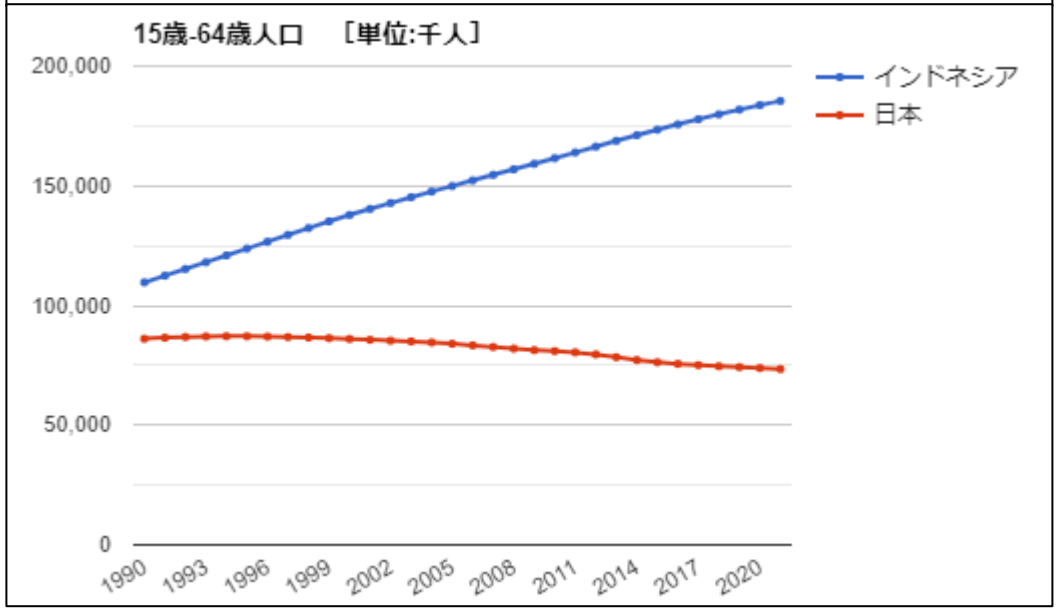
2. 気候

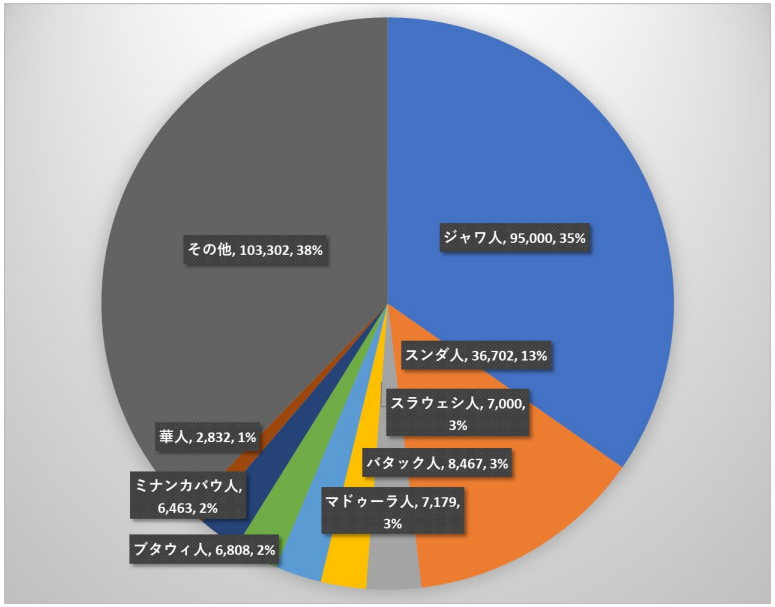


1. インドネシアの年間降水量は2,702mmで世界第10位、日本は1,668mmで第48位。
2. 地震・台風・洪水等の自然災害発生件数では、日本が世界第1、インドネシアは第2位。
3. インドネシアはおおよそ10月から4月が雨期で5月から9月が乾期。
4. 雨期の間は毎日のようにスコールが来るが、気温と湿度は大きくは変わらない。
5. 日本の夏はインドネシアの乾期とさほど変わらない。

3. 国民

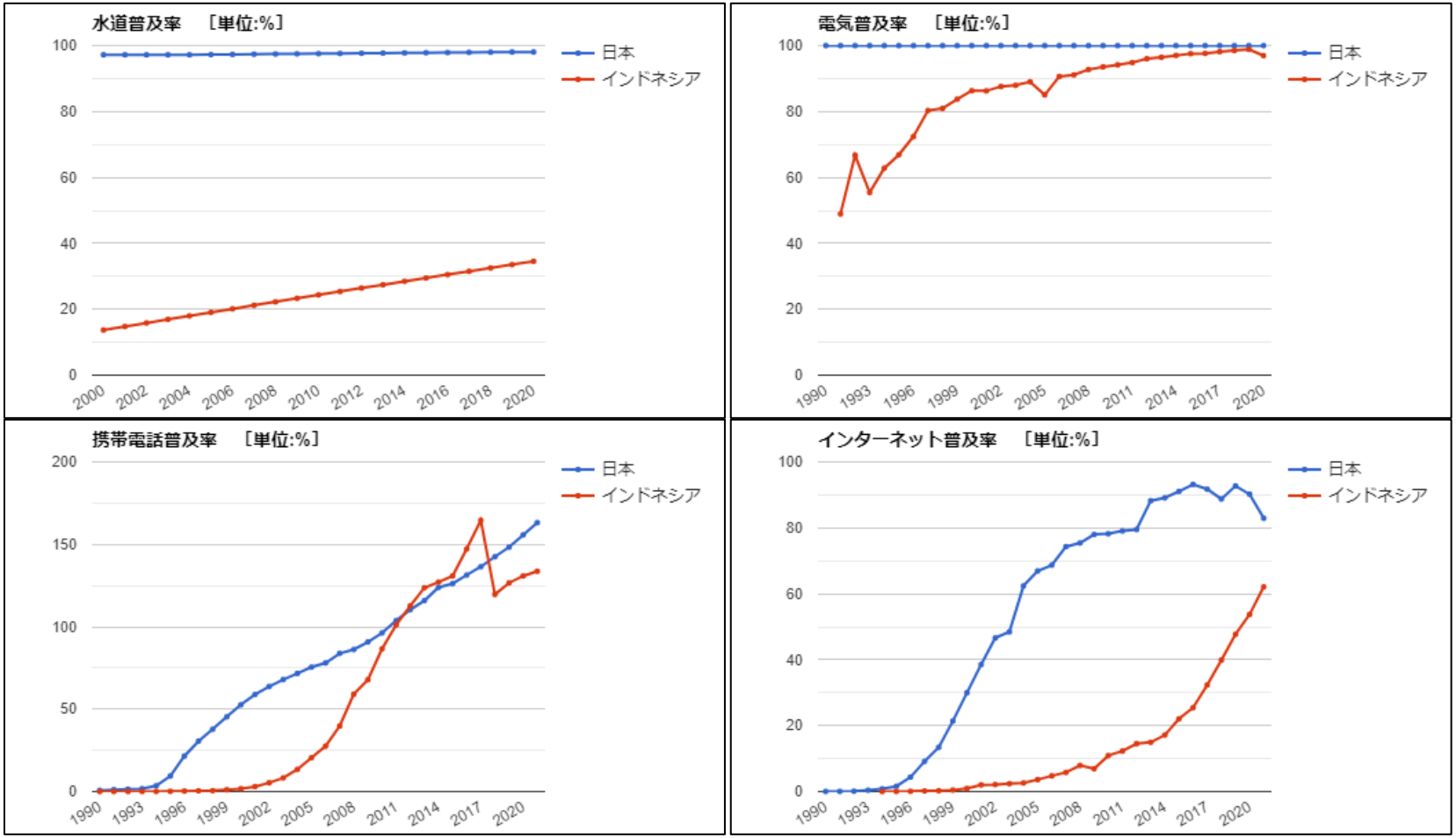






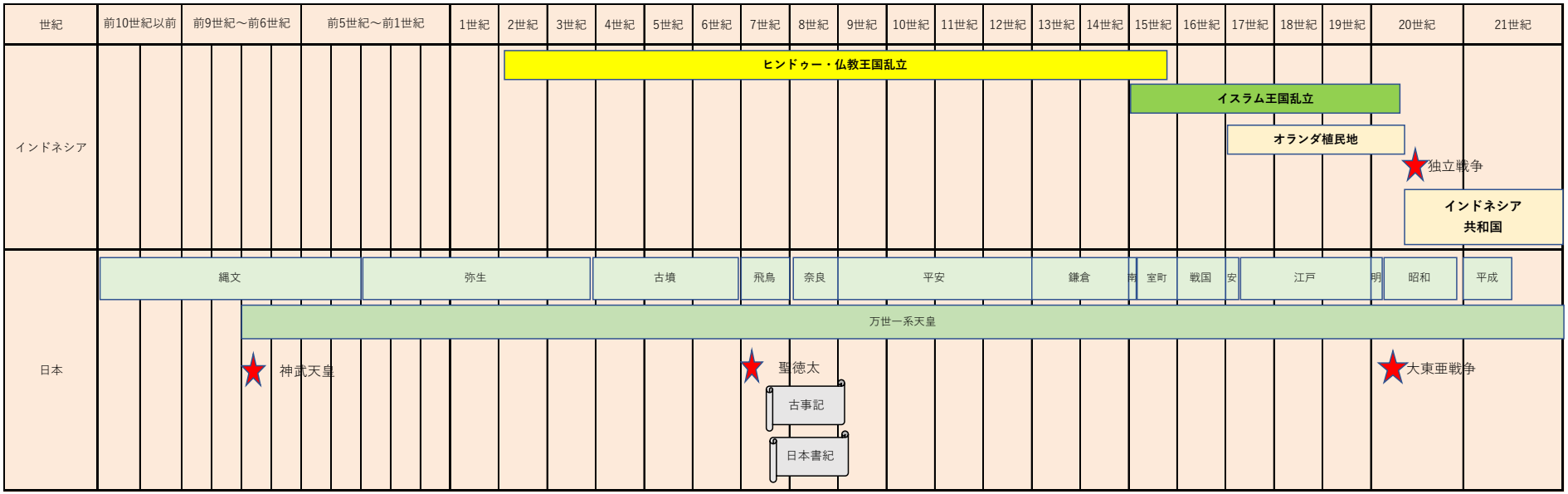
1. インドネシアの総人口は今後も増加し、労働人口も一定の割合を維持すると予測される。
2. インドネシア人の約90%はジャワ人を始めとするマレー系民族。
3. 経済の90%を支配しているとされる華人系インドネシア人は1%強に過ぎない。
4. 2020年の平均寿命は日本が世界第3位で84.62歳、インドネシアが第145位で68.81歳。
5. 大都市人口比率は日本が64.88%、インドネシアは13.76%。

4. 生活



1. 電気、通信分野の普及率は日本のレベルに近付いて来ているが、水道の普及率は未だに遅れている。

5. 歴史

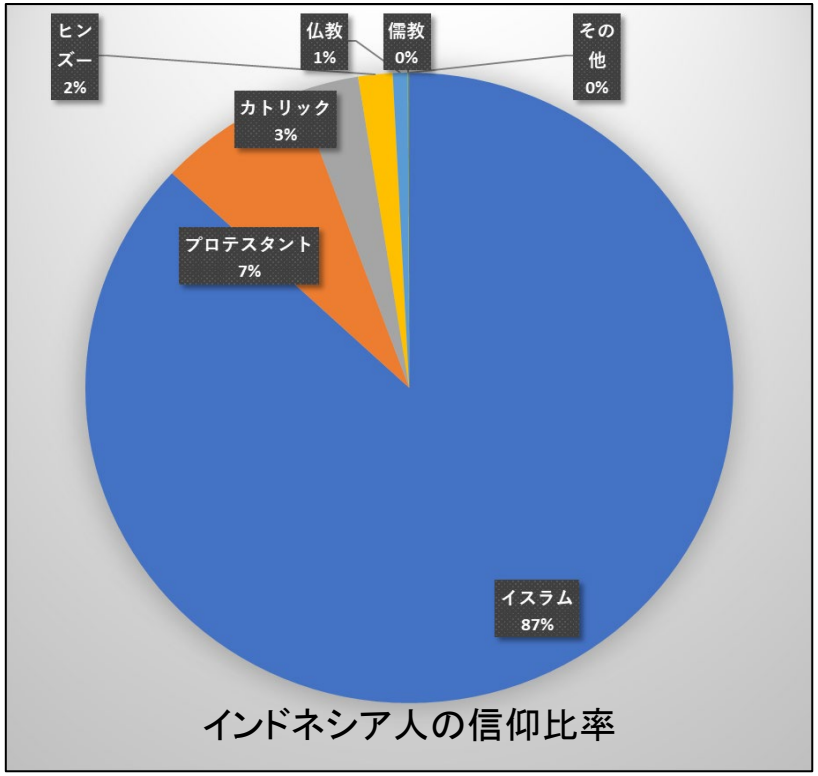


1. 日本には約2600年前からの歴史を文字で綴った古事記および日本書紀が存在するが、インドネシアにはオランダ統治以降にオランダ語で書かれた歴史書のみが存在する。

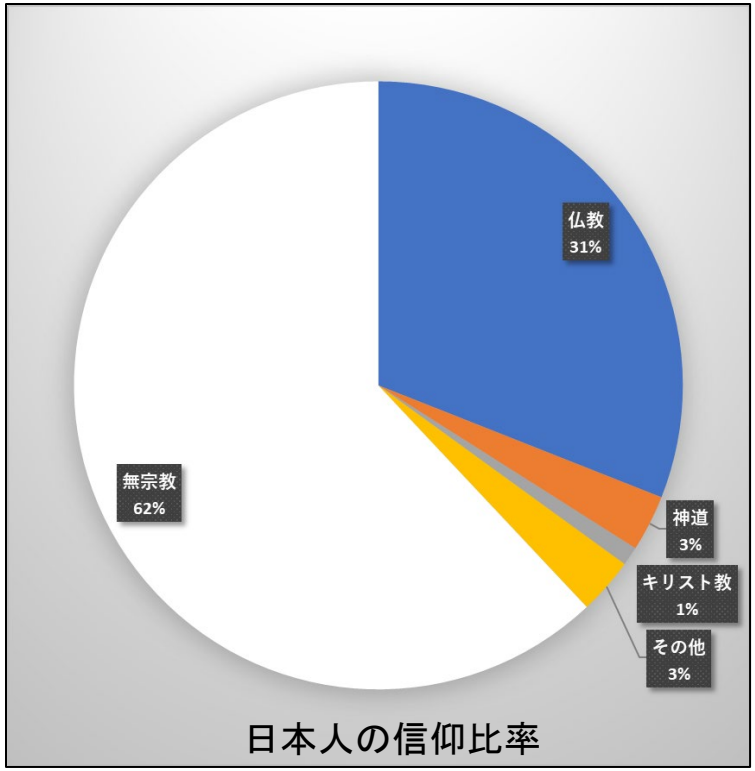
2. 文字で綴られたものを『歴史』と定義するならば、日本の歴史は2600年を超え、インドネシアの歴史は400年前後となる。

3. 厳密にはインドネシア共和国が出来たのは1945年であるから、インドネシアの歴史は78年となる。

6. 宗教



インドネシア人の信仰比率



日本人の信仰比率

1. インドネシアのイスラム教徒の殆どはスンニ派で、シーア派は500人程度と極めて少ない。

2. インドネシア人は国家建国五原則により信仰の告白が義務付けられているが、日本は信仰の自由が憲法で保障されていることから、自分は無宗教と考えている国民が圧倒的に多い。

3. インドネシア人は複数の宗教を信仰することは許されないが、日本人の場合は仏教と神道の両方を信仰している人が多い。

7. 言語

	日本語	インドネシア語
起源	不明	オランダ植民地政府により公用語として使用することを強制されたマレー語
構文	主語＋目的語＋動詞 (SOV)	主語＋動詞＋目的語 (SVO)
発音	母音と子音が組み合わされた50音	オランダ語に準じたアルファベット
文字	漢字、ひらがな、カタカナ、ローマ字	アルファベット
助詞	てにおわ・・・	無し
時制	無し	無し
敬語	多数あり	極少数
接続詞	無し	多少あり
数字	漢字、英数字、ギリシャ数字	英数字、ギリシャ数字
方言	多数	ほとんど無し
外来語	英語、ポルトガル語、オランダ語など	インド語、アラビア語、英語、オランダ語、ポルトガル語など
部族後	アイヌ語、琉球語	ジャワ語、スンダ語、バリ語など多数

8. 衣服

1. 日本の結婚衣装はほとんどの場合が羽織袴と白無垢であるが、インドネシアの場合は各島の部族により異なる。
2. インドネシアの伝統衣装は、アラブ、インド、オランダの影響を残している。

9. 食事

	日本料理	インドネシア料理
主食	米（ジャポニカ米）	米（インディカ米）
総菜	魚、野菜、肉（主に豚、牛、鶏）	魚、野菜、肉（主に鶏、牛、山羊）
汁	味噌汁、お吸い物	各地の多様なスープ
添え物	漬物、海苔	酢漬け野菜、クルプック
軽食	お粥	お粥
麺類	蕎麦、うどん、ラーメン、焼きそば	ラーメン、焼きそば
保存食	餅、干物魚、沢庵、梅干	干物魚・肉、テンペ、塩漬卵
調味料	塩、醤油、味噌、味醂、砂糖、ダシ	塩、胡椒、辛子、砂糖、大豆魚醤
調理法	生、煮物、焼物、揚物	油炒め、揚物、焼物
飲物	緑茶、番茶	茶
代表的料理	懐石料理	パダン料理

10.住居

	日本		インドネシア	
住居タイプ	戸建	集合	戸建	集合
高価格帯				
	数億円以上	数億円以上	数億円以上	数億円以上
中価格帯				
	3千万円以上	3千万円以上	1千万円以上	1千万円以上
低価格帯				
	1千万円以上	10万円/月以上	5百万円以上	5百万円以上
伝統家屋				

日本は耐震構造を優先した鉄骨、木材による軽量構造が主体であるが、インドネシアは耐震構造よりも重厚な趣を優先した鉄筋コンクリート、ブロック、大理石、瓦構造が主体。

11.政治

	日本	インドネシア
統治体制	立憲君主制	共和制
国家元首	天皇が元首か否かは不明	大統領
立法府	衆議院 46人、参議院248人	下記の両議会からなる国民協議会 678人 国民代表議会 560人、地方代表議会 136人
行政府	総理大臣　1名 大臣　8名	大統領　1名 調整大臣　5名　　大臣　31名
司法府	最高裁判所　1ヵ所 高等裁判所　14ヵ所 地方裁判所　253ヵ所　　家庭裁判所　330ヵ所 簡易裁判所　438ヵ所	憲法裁判所　1ヵ所　　最高裁判所　1ヵ所 高等裁判所　30ヵ所　　地方裁判所　382ヵ所 行政裁判所　28ヵ所　　宗教裁判所　1ヵ所 軍事裁判所　4階級
法体系	憲法→法律→政令・省令→規則・条例	憲法→法律→政令→大統領決定/令 →大臣決定/令→地方決定/令
地方自治	47県→792市/743町/183村	37州→416県/98市→7,266郡 →8,506区/74,961村
政府予算	令和5年度　114兆円	2023年度　Rp.3,061兆（26兆円）
国際関係	日米安全保障条約、G7、G20、APEC	ASEAN、G20、APEC、イスラム協力機構 非同盟国

1. 1990年以降の日本は小さな政府に傾倒しているが、インドネシアは大きな政府を維持している。
2. インドネシアの大統領および議員は基本的に国民による直接選挙で選ばれる。

12.軍事

2023年度	日本	インドネシア
世界ランキング	8位	14位
軍事費（兆円）	6.8	0.8
兵力（千人）	250	800
戦車（両）	1,000	315
戦闘機（機）	320	41
原子力潜水艦（隻）	0	0
通常型潜水艦（隻）	24	0
航空母艦（隻）	4	0
戦闘用艦船（隻）	137	221

1. 日本は日米安全保障条約の下、多くは米国製の軍需品を利用。
2. インドネシアは米国、ロシア、フランスなど複数の国から軍需品を調達する傍ら、国産にも力を入れている。

13.教育

歳	級	教育文化省管轄普通学校		宗教省管轄寄宿学校	就学率(2016年)
以上 23	高等教育		大学院 Pasca Sarjana S2-S3	生徒数の割合は全体の15%くらい	
22 21 20 19		専門学校 Akadmi D1-D4:Diploma	大学 Universitas S1:Sarjana	イスラム系大学 Pesantren	18% （日本短大含む58%）
18 17 16	中等教育	職業高校 SMK:Sekolah Menengah Kejuruan	普通高校 SMU:Sekolah Menengah Umum	イスラム系高校 Pesantren	60% （日本99%）
15 14 13		中学校 SLTP:Sekolah Lanjutan Pertama		イスラム系中学校 Pesantren	78% （日本100%）
12 11 10 9 8 7	初等教育	小学校 SD:Sekolah Dasar		イスラム系小学校 Pesantren	97% （日本100%）
6 以下		幼稚園 TK:Taman Knak-Knak		幼稚園 TK:Taman Knak-Knak	

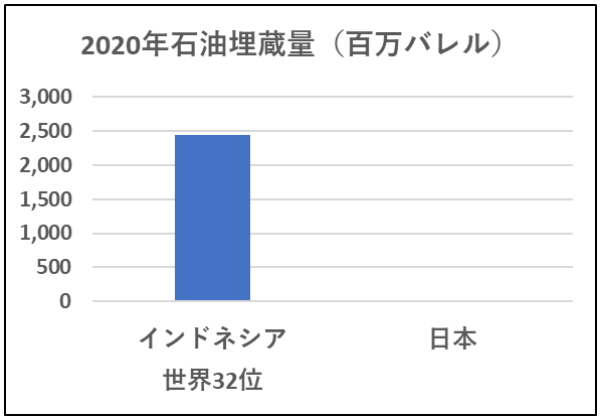
1. インドネシアの私立学校には普通学校の他にイスラム寄宿学校がある。

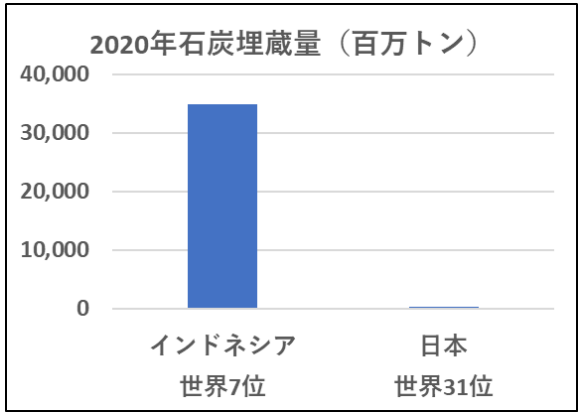
14.環境

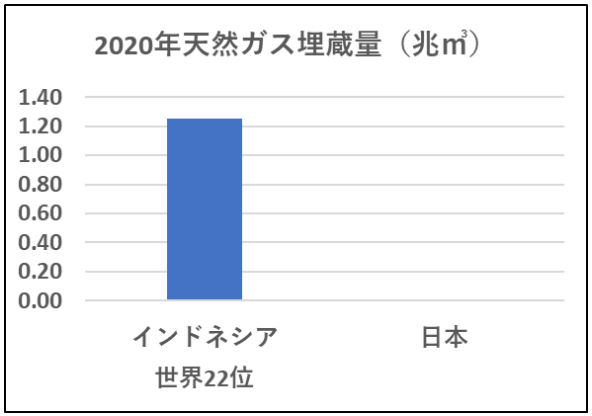
	日本	インドネシア
産業廃棄物	事業者が自ら特別管理産業廃棄物処理基準に従って処理を行う。	工場から排出される産業廃棄物で再生可能な材料は基本的に売却可能。 買い取り業者はマドゥーラ・マフィアと呼ばれる組織で地域別に縄張りを持つ。
産業排水	水質汚濁防止法では、水質汚濁防止法施行令で指定された「特定施設」を設置している「特定事業場」からの公共用水域への排出、及び地下水への浸透を規制している。	排水基準は国と地方政府に差があり、工場建設の際に実施される環境影響評価(AMDAL)により適用基準が決まる。 国、地方政府共に、総量規制と品目別規制の双方を定めている。
有害廃棄物	特別管理産業廃棄物の許可業者に運搬又は処分を委託しなければならない。	Bahan（材料） Beracun（有毒） dan Berbahaya（危険）の頭文字を取り3Bと呼ばれ、事業者自身で処理をするか、処理業者に委託する。
生活排水	水質汚濁防止法では、生活排水対策の実施を推進する。	生活排水については実質的に規制がないため、特に都市部の河川は汚染されている。
生活ゴミ	各自治体がゴミの分別、収集、焼却、リサイクル、埋立などを実施している。	首都ジャカルタからは毎日7,000トンの生活ゴミが近隣のゴミ処理場に持ち込まれている。
脱炭素問題	日本政府は脱炭素のための国家予算を確保し、世界に先駆けてCO_2削減による地球温暖化対策に取り組んでいる。	電力の大部分を石炭・石油・ガスの火力発電に頼っているため脱炭素の壁は高い。 一方で、世界最大のニッケル生産量を背景にした電気自動車の生産拠点化も目指す。

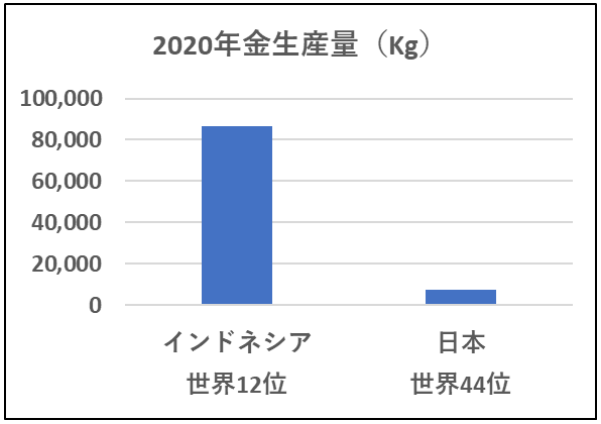
1. 日本は必要以上と思える程に環境問題にリソースを投入しており、経済成長の足枷となることが危惧される。
2. インドネシアは環境問題が時限爆弾のような脅威であり、日本とは対極の状況にある。

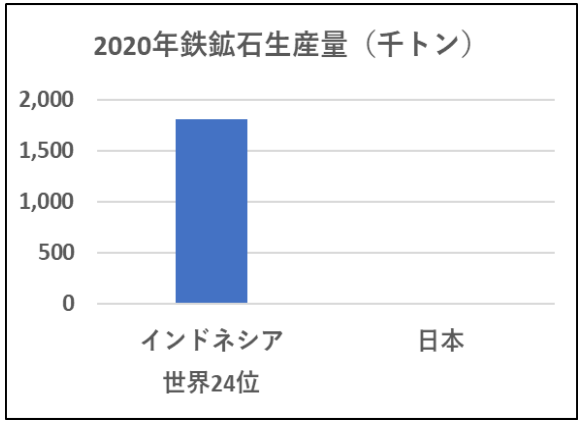
15.資源

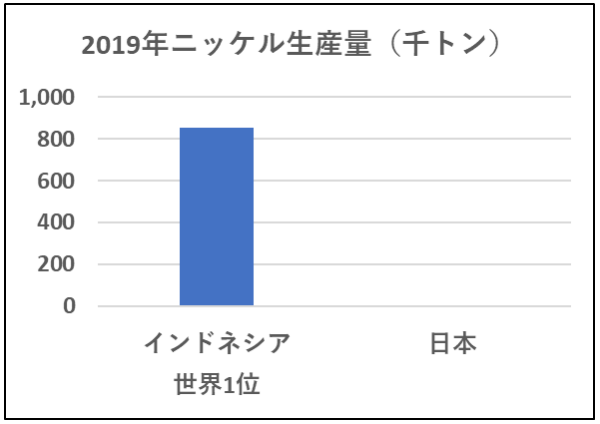






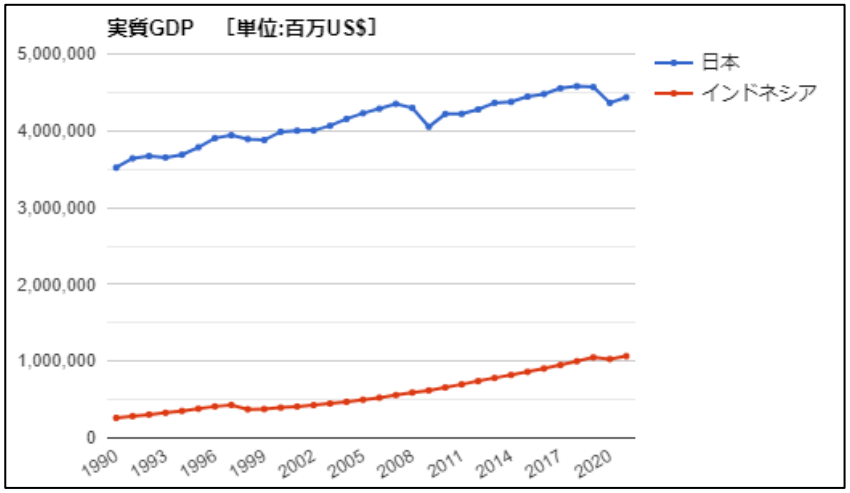


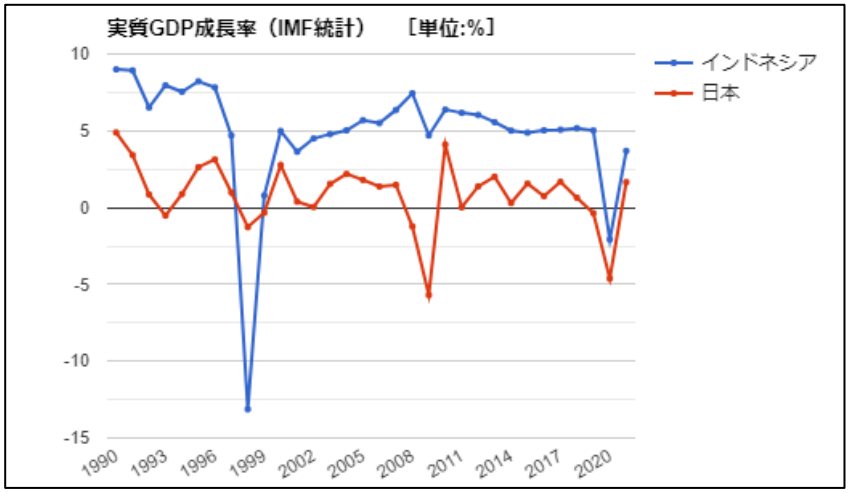


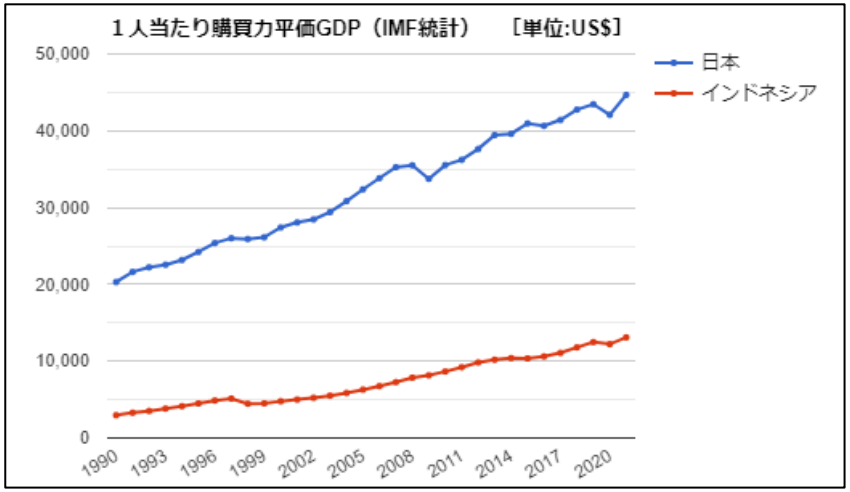


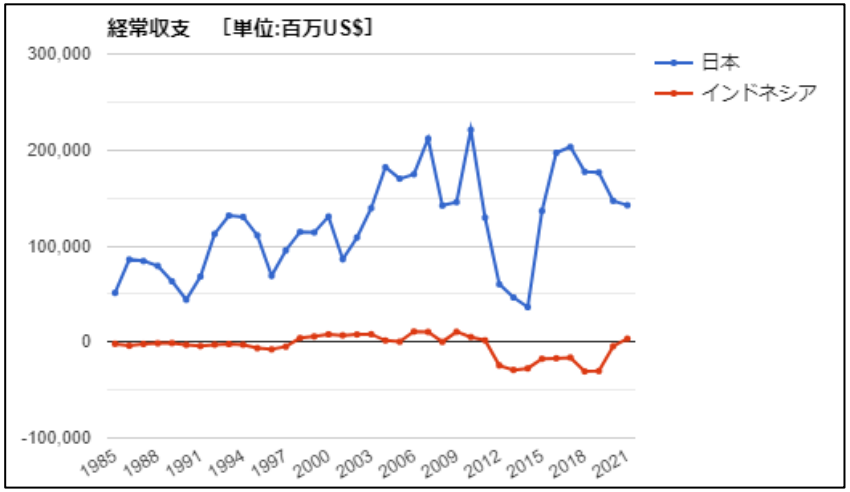
1. インドネシアは石油以外の燃料は輸出出来る量が埋蔵されている。
2. インドネシアのニッケルはリチウムイオン電池の原料として世界から注目されている。
3. 日本には資源と言われるものはほとんど無い。

16.経済



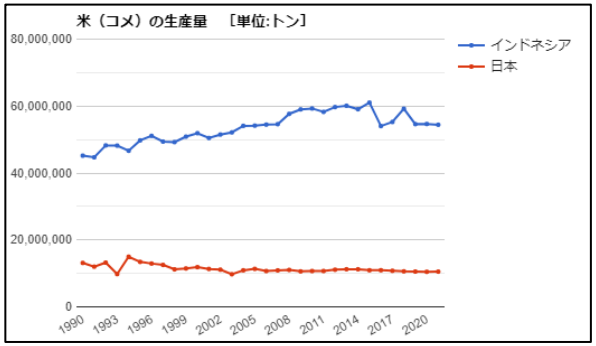


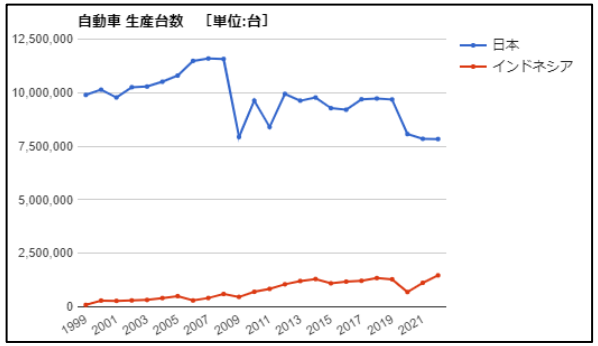


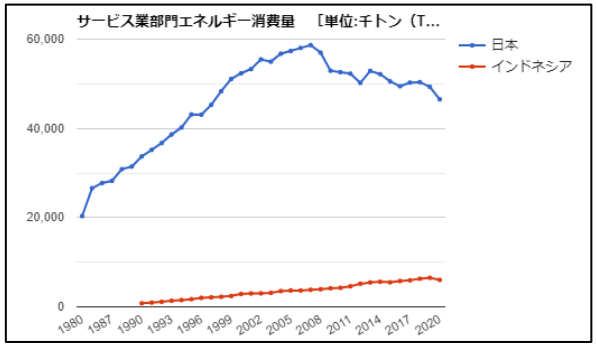


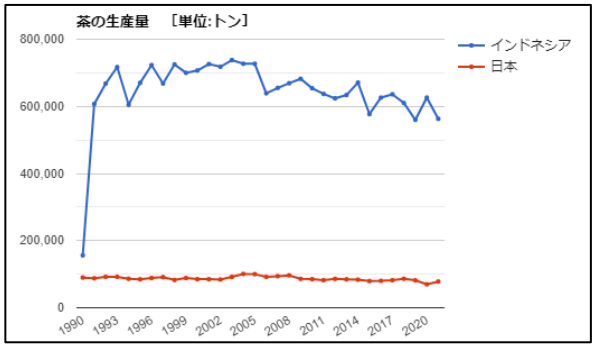
1. 経済成長が停滞している日本に対して、インドネシアは5%前後の成長を維持しており、2045年までにはGDPで日本を追い抜くことを国家目標にしている。

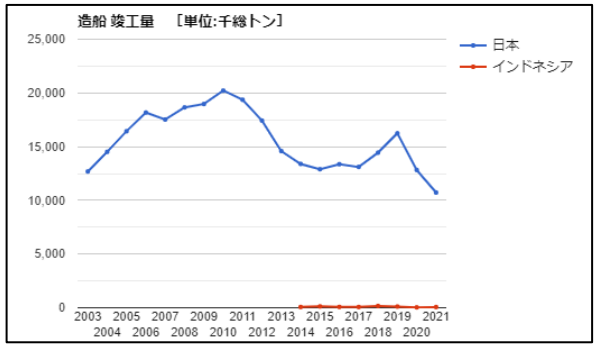
17.産業

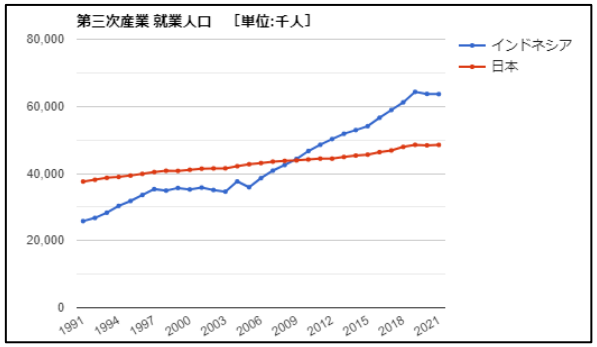


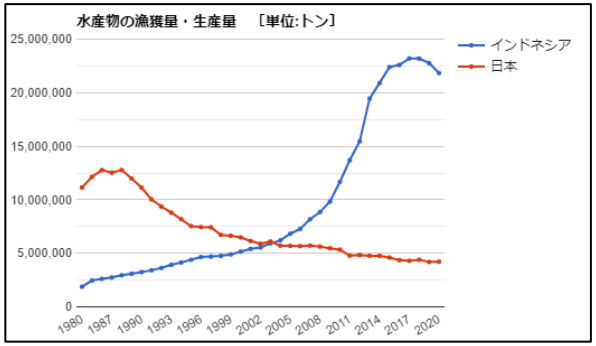


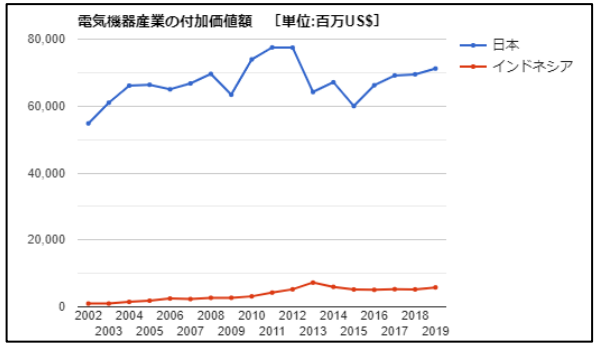


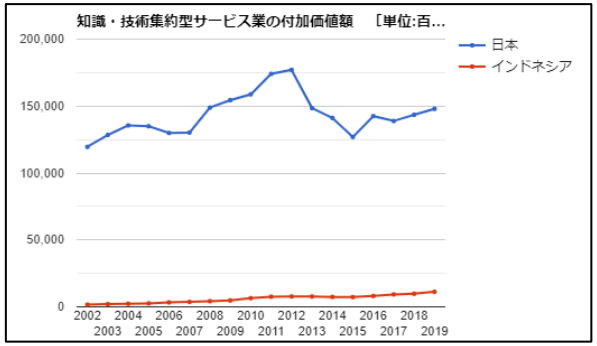






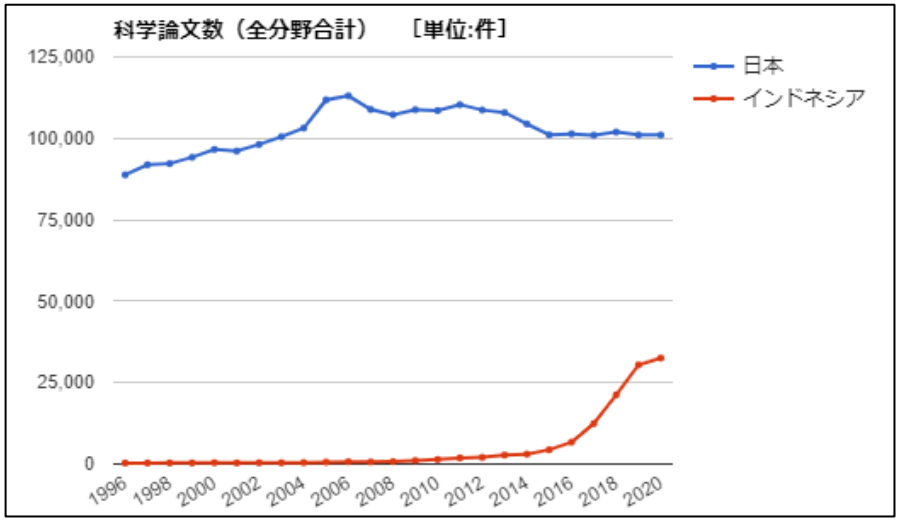


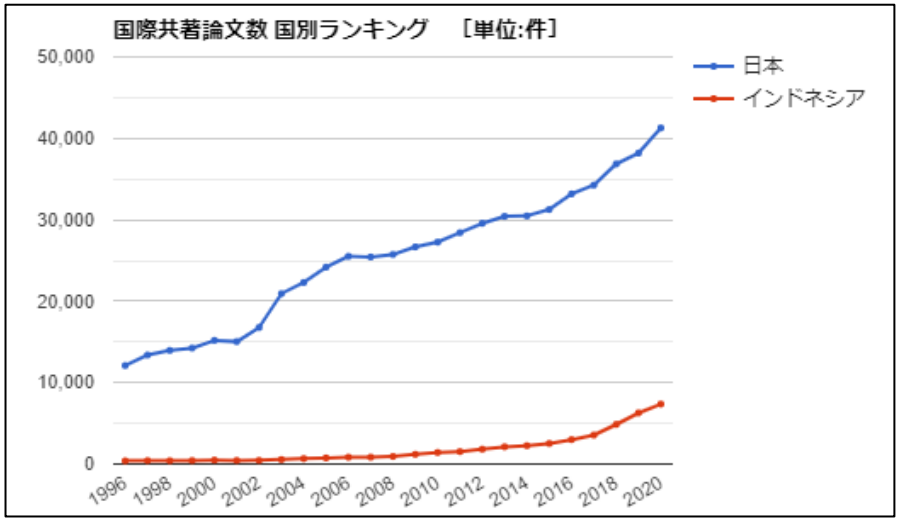


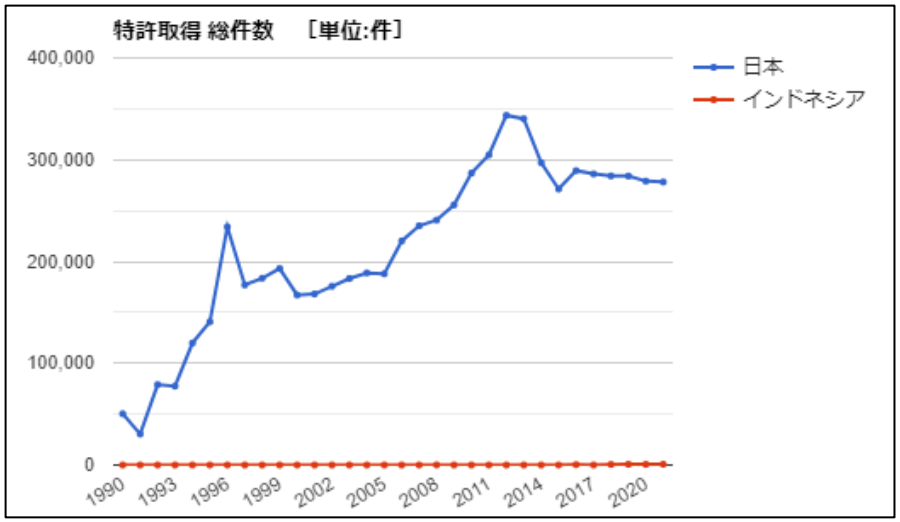


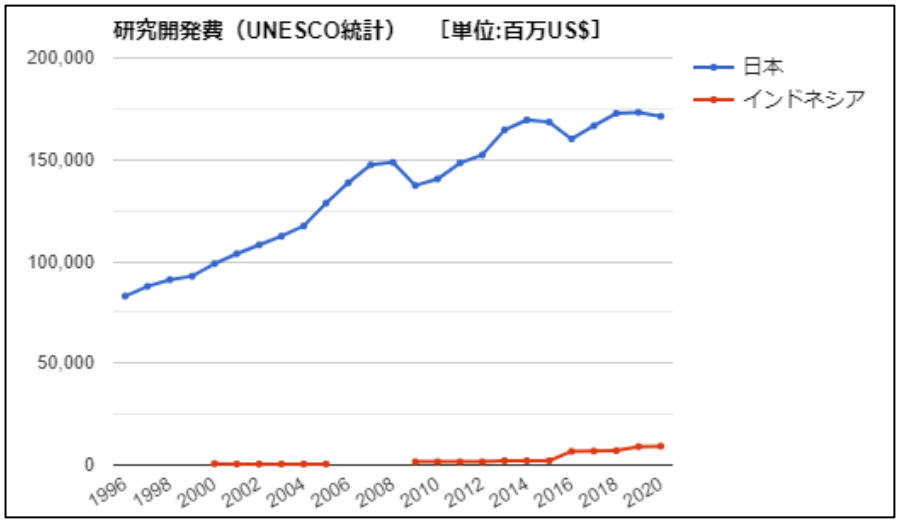
1. 一次産業分野では量的にインドネシアが日本を大きく上回っている。
2. 二次産業分野では日本が量および質の面でインドネシアを大きく上回っている。
3. 三次産業分野でも日本が量および質の面でインドネシアを大きく上回っているが、インドネシアにおける三次産業への人口シフトが顕著である。

18.技術



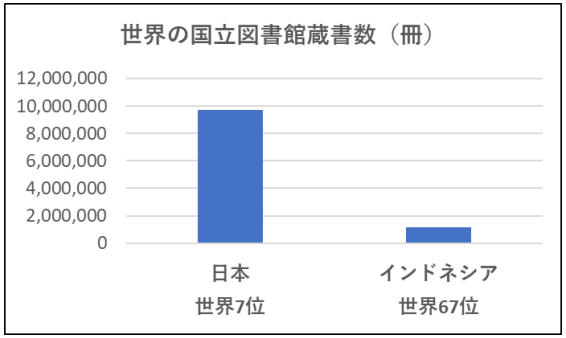


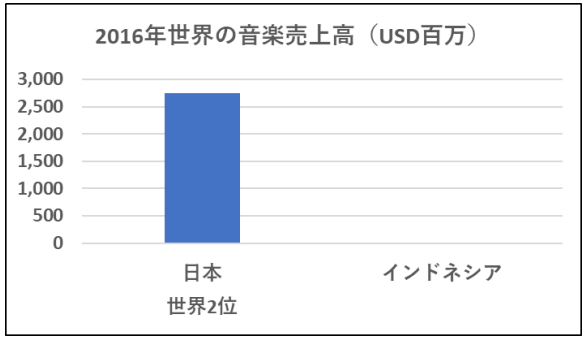


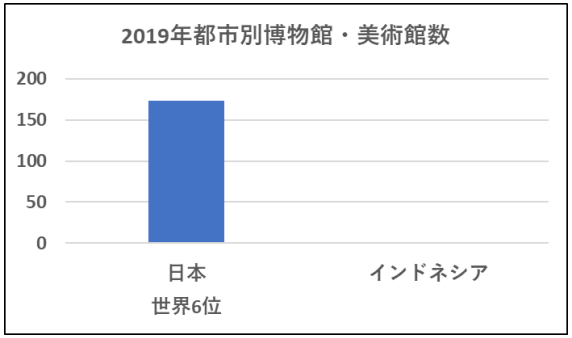


1. インドネシアは日本に大きく遅れていたが、2016年頃から向上の兆しが出て来た。

19.芸術



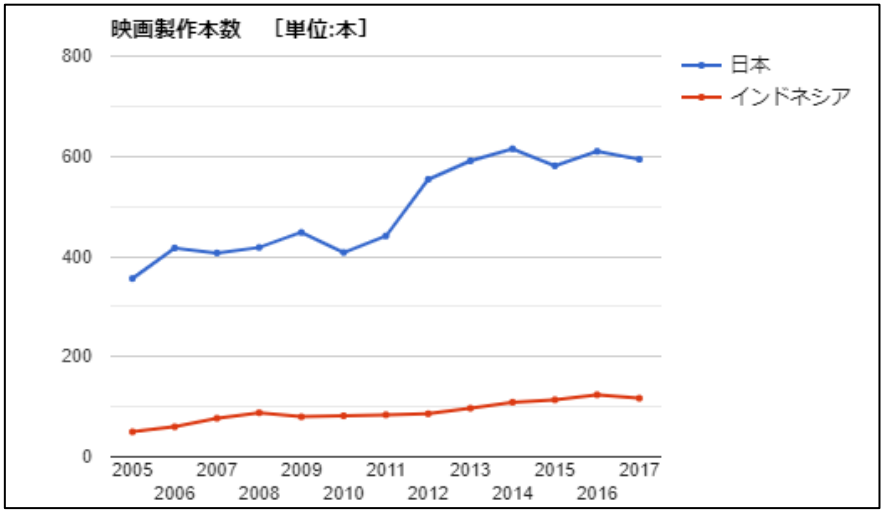


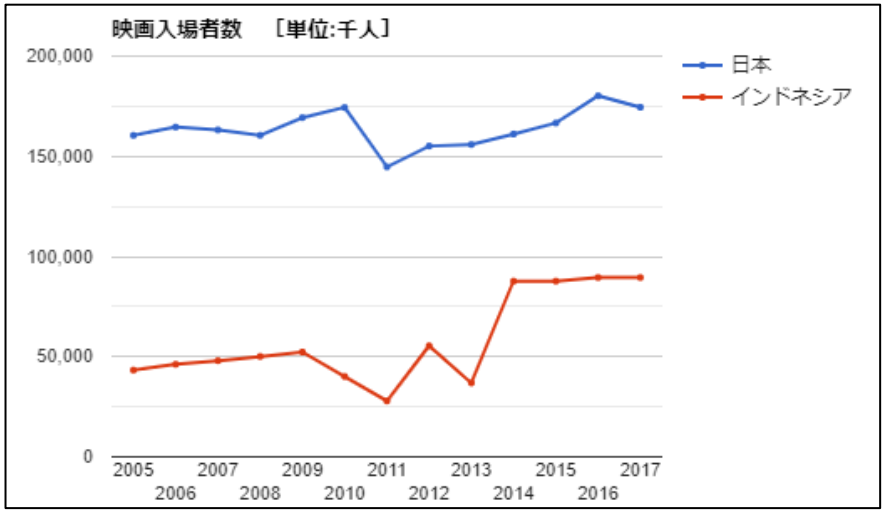


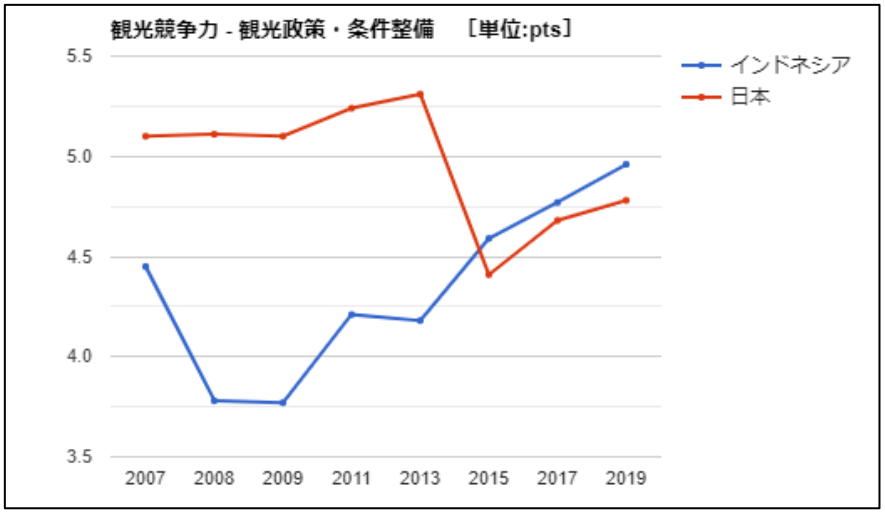
日本の代表的伝統芸術

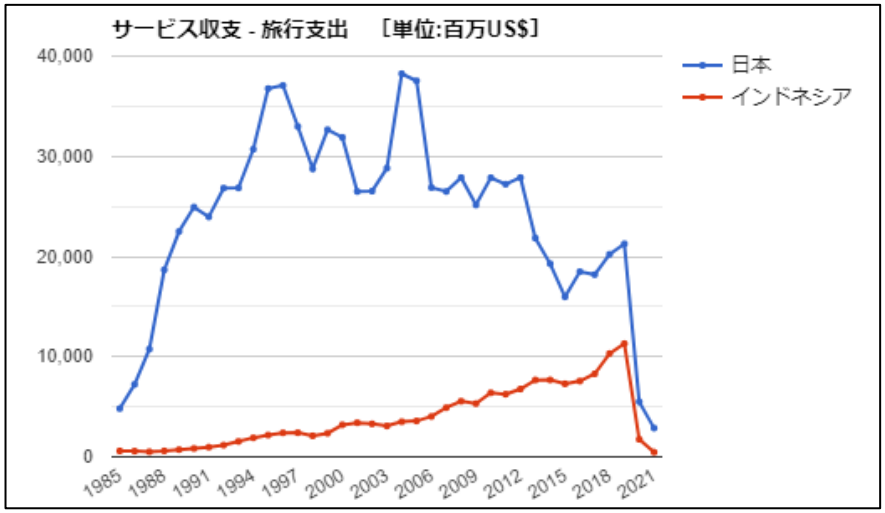
インドネシアの代表的伝統芸術

20.娯楽









1. インドネシアもコロナ禍が原因で一時的に減少したが、旅行支出は確実に伸びて来ているが、日本は2000年に入ってから減少傾向が続いている。

最新のインドネシア情報はこちらから

インドネシア進出サポート公式サイト

インドネシア進出準備から撤退までの要点を簡潔にまとめたサイト（Googleトップランキング）

https://www.hmkt.jp/

インドネシア最新情報ブログ

あらゆる分野での情報を毎日、どんなメディアよりも早く紹介

http://blog.livedoor.jp/kojindonesia/

インドネシア進出サポートウエブセミナー

公式サイトに掲載されたセミナースライドサンプルの中から、ダウンロード件数の多いもの順に音声解説付きのスライドをアップロードしています

https://www.youtube.com/channel/UCXghuRz7zRX5jLOXu75rQjQ

ご清聴ありがとうございました
ここからは質疑応答です